

郷土資料室便り

2022年 夏号
発行元
大垣市立図書館

7・8・9月の講座

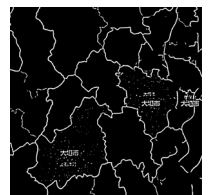
ふるさと古文書講座

7月8日(金)
9月9日(金)
※8月はなし

ふるさと歴史講座

7月14日(木)
7月28日(木)
9月1日(木)
9月22日(木)
※8月はなし

大垣の夏占い



曇りが多く
蒸し暑さが続く
「水まんじゅう」
の食べ比べで
運氣アップ!

ぼたにかるいらすとれーしょん展、開幕

主役は草花、7月1日から

図書館3階郷土資料室の新しい展示が、7月1日(金)からはじまります。

「ぼたにかるいらすとれーしょん」(Four seasons ~展と題して、四季の植物をテーマに、江馬細香筆「四君子之図」をはじめとした掛軸や和本など大垣市立図書館所蔵の貴重な資料11点を公開。それぞれの作品はめったに見ることができないため、ぜひこの機会にご来館ください。

また、ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」が、利用可



江馬細香筆「四君子之図」

能となっており、展示をみるだけでなく、詳しい解説を聞くこともできます。

【開催期間】

令和4年7月1日(金)
～9月29日(木)
午前9時～午後5時まで
(休館日は毎週火曜日、
7/20・7/29・8/12・
8/26・9/21・9/26)

【開催場所】

図書館3階郷土資料室
展示コーナー

ふるさと歴史講座

ハイブリッド形式で開講

図書館所蔵の郷土資料を通じて、郷土大垣の歴史・文化について学ぶ「ふるさと歴史講座」、令和4年度は充実の講師陣と内容に加え、これまでの会場での対面受講のほか、ZOOMを利用したオンライン形式での参加もできるようになります。

【開催場所】

サイトピアセンター
学習館2階サイトピアホール
会場受講(60名)
および
ZOOMによるオンライン
受講(定員なし)

今年度のテーマは、大垣に関する文学や中世の歴史です。西美濃、大垣、そして大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の終盤

ミュージアム展示ガイド ポケット学芸員



*ポケット学芸員の詳細については次のQRコードからご確認くださいだけです。



こちらのQRコードより申込み可能。大垣市電子申請サービス画面が起動します



開催日時・内容

回	日にち	テーマ(講師)	
1	7月14日	東京本郷旅館街を形成した西美濃の人物	(鈴木 隆雄氏 (公財)大垣市文化事業団学芸員)
2	7月28日	文学に描かれたおおがき	(樋口 健司氏 水の都おおがき短編小説コンクール審査員)
3	9月1日	関ヶ原合戦における島津の退き口と周辺史料	(山形 隆司氏 岐阜関ヶ原古戦場記念館学芸員)
4	9月22日	源平争乱と大垣の関わり	(織田 光一 図書館員)
5	10月6日	承久の乱と美濃	(坂東 肇 図書館員)
6	10月20日	大垣城主 氏家ト全	(児玉 剛 図書館員)

※いずれも木曜日、時間は午後1時30分～3時

大垣よもやまコラム

青柳城あおやなぎじょう (割田城)わりでん

坂東 肇

青柳城は割田一丁目付近にあったと江戸時代の書物には書いてあります。かつては土居が残り、本丸や二の丸もあったといひます。土居とは、屋形の周囲を守る堤防のようなものです。城主は、和田奥田丸、市橋長勝、小寺掃部の名が見られます。ここは、宮

川安定やすきたが大垣城を造った時に空城になっていたため、その資材を大垣城に運んだと伝えられています。江戸時代に大垣城には七口門という城に入る七つの門がありました。天守の南西方向には柳口門がありました。その名がつけられた理由として、青柳城の方

を向いているからという伝承が残っています。現在、柳口の内側の櫓門は、大垣城の東門になっています。



大垣城東門(昔の内柳門)

おすすめの1冊

創立五十周年記念

大垣の城館めぐり



1階児童室、2階一般閲覧室、3階郷土資料室(郷土)、墨俣図書館、上石津図書館にてご覧いただけます

坂東 肇 著

この本は、戦国時代に大垣にあった城館を紹介するものです。江戸時代の書物に書かれた内容を中心としていますが、城館に関係した人物伝説や昔話、そして最近の発掘成果や推定地付近の現況などについても紹介しています。

レファレンス事例簿

郷土資料室では資料やデータベースを使って調べもののお手伝い(レファレンス)をしています。これまでいただいたレファレンスの中から大垣に関するご質問をご紹介します。

【問い合わせ】
初夏、大垣でハスの花が見られるところはどこですか？

【回答】
大垣市公式ホームページのサイト内検索で「蓮」とキーワード検索をした結果「四季の花 開花状況」とあり、市内の花の名所等の開花状況がわかります。そのページから、大垣市米野町武道館東のふづきの里で7月上旬から下旬にかけてハスの花を見ることができるとわかります。

また、大垣市発行『四季の里』(3階郷土資料室所蔵【519/471】)にも関連情報が掲載されています。

【問い合わせ】

昭和15年前後に大垣にあったそろばんの学校の名称と所在地はわかりますか？(せいのうしょうぎょう)という名前がついていたと思います)

【回答】

「せいのうしょうぎょう」のキーワードで図書館の蔵書検索をすると、『濃飛郷土史』の図書がヒットし、発行が西濃商業学校出版部、1932年(昭和7)で、住所が大垣市竹島町であることがわかります。また、戦前の地図「大垣市大日本職業明細図 昭和十六年」をみると、竹島町に「西濃速算学校」があり、昭和33年の『大垣市住宅明細地図』をみると、同じ場所に「西濃高等速算所」があったことがわかります。



大垣を深めよ!

Gaki word

○の部分为您解答せよ。

タテのカギ

- 木曾川・長良川・揖斐川を〇〇三川という
- 大垣藩校の名前、〇〇〇〇
- 大垣を走る〇〇〇〇鉄道
- 東町田遺跡の絵画〇〇
- レファレンス事例簿の回答図書の〇〇〇〇よう土史
- 上石津〇〇願寺のシブナシカヤ
- 江戸時代から続く和菓子、〇〇〇〇〇〇饅頭

- 県の重要文化財「十六〇〇鐔」
- 墨俣琉球使節ゆかりの石〇〇〇〇
- 『奥の細道』の一節「〇〇〇〇〇とも また旅人なり」

1		2	3	
		4		
		5		6
7				

ヒントは「図説大垣市史」に
解答は次号